

## 法政大学学術機関リポジトリ

## HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

「『久高島方言辞典』福治友邦・加治工真市共著」  
出版のために

著者	加治工 真市，福治 友邦
出版者	法政大学沖縄文化研究所
雑誌名	琉球の方言
巻	29
ページ	41-65
発行年	2005-03-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10114/11878">http://hdl.handle.net/10114/11878</a>

# 『久高島方言辞典』 福治友邦・加治工真市共著」出版のために

加治工真市  
福治 友邦

## はじめに

久高島は行政区画上、沖縄県島尻郡知念村に属する島である。知念半島の東方約5kmの海上に位置し、周囲7.75km、面積1.39km<sup>2</sup>、標高17.1mの琉球石灰岩からなる低平で細長い島である。琉球王国時代には進貢船の船長や船員が輩出した島でもあると言われている。伝統的に漁業の盛んな島で、戦前は鰹漁業を八重山や南洋諸島に展開させた。琉球王府とも密接な関係を有する祭祀があり、イザイホー等の祭祀は古代の祭祀として夙に有名で、村落を構成する2集団の頂点にある外間ノロ家、久高ノロ家のイラブー漁業権世襲や宅地以外の土地を班田収受法的に耕作させる地割制度（『沖縄大百科事典』参照）等、多くの研究者の注目するところとなってきた。

これに反して言語の研究は、久高島方言が特徴的な方言であるにも関わらず、管見の及ぶところ極めて少ない。そのような中において、久高島方言も昨今の方言衰退の例に漏れず、方言の話せない世代が急増しつつある。かかる状況に鑑み、我々は特に貴重な文化遺産である久高島方言を後世に残すべく『久高島方言辞典』の編纂を計画した。この事業を推進する上で幸運だったことは、優れた久高島方言の話者、福治友邦氏の献身的な協力を得たことである。我々は平成5年4月より平成14年4月まで沖縄県立芸術大学の加治工研究室において毎週土曜日に久高島方言を収録した。その間に収録しえた録音テープは65本（90分テープ）である。その後我々は録音テープを再生しつつ文字化した。文字化するに当たっては逐一インフォーマントの福治氏に確認した。ここで我々が協同して収録した方言資料はすべて福治友邦氏の個人語資料である。以下に、これまで文字化した久高島方言語彙を可能なかぎり整理して方言辞典の形にして示したいと思う。

最期に話者の言語暦について記しておく。話者の福治友邦氏は大正14年9月30日久高島で同島出身の父（正雄氏）母（喜代子氏）の長男として誕生し、11歳まで同島で過ごした。12歳から14歳まで父親の鰹業経営のため、一家そろって八重山石垣島に移住し、家庭では日常的に久高島方言の生活を続けた。15歳からは沖縄県立第一中学校入学のため、沖縄本島の旧首里市に移り、各学期末の休暇中は祖父母の住む久高島で過ごした。県立第一中学校卒業後、本土で兵役に従事し、昭和21年両親の住む石垣島に復員した。昭和25年に八重山裁判所に勤務し、同28年に那覇市の裁判所に転勤、以後昭和60年12月に定年退職するまで沖縄の法曹界に貢献して現在にいたっている。その間、氏は琉球

の歴史・民俗文化の研究を深め、特に久高島の歴史・民俗文化の研究と保存活動に力を注いでいる。

## 久高島方言の音節表

イ	エ	ア	オ	ウ	ヤ	ヨ	ユ	ワ	エ
[i]	[e]	[a]	[o]	[u]	[ja]	[jo]	[ju]	[wa]	[we]
ヒ	ヘ	ハ	ホ	フ	ファ	—	フュ	ファ	フェ
[çi]	[he]	[ha]	[ho]	[Φu]	[Φja]	—	[Φju]	[Φa]	[Φe]
キ	ケ	カ	コ	ク	キャ	—	キュ	クワ	—
[ki]	[ke]	[ka]	[ko]	[ku]	[kja]	—	[kju]	[kwa]	—
ギ	ゲ	ガ	ゴ	グ	ギャ	—	—	グワ	—
[gi]	[ge]	[ga]	[ɡo]	[gu]	[ɡja]	—	—	[gwa]	—
シ	シェ	サ	ソ	ス	シャ	—	シュ	—	—
[ʃi]	[ʃe]	[sa]	[so]	[su]	[ʃa]	—	[ʃu]	—	—
スイ	スエ	スア	スオ	スウ	—	—	—	—	—
[θi]	[θe]	[ra]	[θo]	[θu]	—	—	—	—	—
ジイ	—	ジャ	ジョ	ジュ	—	—	—	—	—
[ɕi]	—	[ɕa]	[ɕo]	[ɕu]	—	—	—	—	—
チ	—	チャ	チョ	チュ	—	—	—	—	—
[tçi]	—	[tʃa]	[tʃo]	[tʃu]	—	—	—	—	—
[tʃi]	—	[tʃa]	—	—	—	—	—	—	—
ティ	テ	タ	ト	トゥ	—	—	—	—	—
[ti]	[te]	[ta]	[to]	[tu]	—	—	—	—	—
ディ	デ	ダ	ド	ドゥ	—	—	—	—	—
[di]	[de]	[da]	[do]	[du]	—	—	—	—	—
リ	レ	ラ	ロ	ル	—	—	リュ	—	—
[ri]	[re]	[ra]	[ro]	[ru]	—	—	[rju]	—	—
ピヒ	ペヘ	パハ	ポホ	プフ	ピヒヤ	—	—	—	—
[pçi]	[pʰe]	[pʰa]	[pʰo]	[pʰu]	[pʰja]	—	—	—	—
ピ	—	—	—	プ	—	—	—	—	—
[p'i]	—	—	—	[p'u]	—	—	—	—	—
ビ	ベ	バ	ボ	ブ	ビヤ	—	—	—	—
[bi]	[be]	[ba]	[bo]	[bu]	[bjja]	—	—	—	—
ニ	ネ	ナ	ノ	ヌ	ニヤ	—	—	—	—
[ni]	[ne]	[na]	[no]	[nu]	[nja]	—	—	—	—
ミ	メ	マ	モ	ム	ミヤ	—	—	—	—
[mi]	[me]	[ma]	[mo]	[mu]	[mja]	—	—	—	—

## 基礎語彙 第1分野 天地・季候

「アーブク」[ʔa:buku] (名)

水の泡。「ミリス アーブク」[mirinu ʔa:buku] (水の泡)。アー「ブクヌ」 スァチ  
 ュン[ʔa:bukunu ʔaʔuŋ] (水の泡が立つ)

「アガイスィラ」[ʔagai θira] (名)

朝日。「上り太陽」の義。「アガイスィラヌ ヌブタン」[ʔagai θiranu nubutaŋ] (朝  
 日が昇った)。「スィラヌ アガイン」[θiranu ʔagain] (太陽が昇る)。「スィラ  
 ス アガタイ」 ハー 「シグトゥチ イキバ」[θiranu ʔagatai ha: ʃigutu  
 tʃi pikiba] (太陽が昇ったので早く仕事に行きなさい)

アカ「スァン」[ʔaka ʔaŋ] (形)

明るい。「シューヤ」 ティキヌ 「アカスァン」[ʃu:ja tikinu ʔakaraŋ] (今  
 日は月が明るい)。「シューヌ ティ「キャー アカスァー」ナーン」[ʃu:nu tikja:  
 ʔakara:na:ŋ] (今日の月は明るくない)。「キヌーヤ」 ナー「ピヒン アカスァタ  
 ン」[kinu:ja na: ʔpiŋ ʔakarataŋ] (昨日はもっと明るかった)

「アガリ」[ʔagari] (名)

東。「アガリハリ」[ʔagarihari] (東風)。ク「ティハリ」[ku tihari] (「東風・風」の  
 義)ともいう。アガリ「バラ」[ʔagari ʔbara] (東側)。「スィラー アガリラ」  
 ヌブイン「θira: ʔagarira nubuiŋ] (太陽は東から昇る)。「アガリヌ ヤー  
 」[ʔagarinu ja:] (東の家)。「アガリラ」 ドーグ 「ハティ」 フー「バ」[ʔagarira  
 do:gu ʔhati hu:ba] (東の家から道具を借りてきなさい)

アガリ「バラ」[ʔagari ʔbara] (名詞)

東側。東の方。

「アガリハリ」[ʔagarihari] (名)

東風。ク「ティハリ」[ku tihari] (東風<こち>)ともいう。

「アギ」[ʔagi] (名)

陸。陸地。「アギンチュ」[ʔagintʃu] (陸の人。漁師でない人)

アサ「ルリ」[ʔasa ʔruri] (名)

朝風。

アスア「スァン」[ʔara ʔaŋ] (形)

浅い。「ウヌ ウミヤー」 ア「スァスァン」[ʔunu ʔumja: ʔa ʔaraŋ] (この海は  
 浅い)。「アスァスァン ウミ「カヤー」 ナ「グワーヤ」 マン「ドゥーン」  
 」[ʔaraŋ ʔumi ʔkaja: nna ʔgwa:ja man du:ŋ] (浅い海には貝類が多い)。  
 シ「レーニ アスァスァ ナ」ティ 「チャン」[ʃi ʔre:ni ʔara na ti ʔaŋ] (次第

に浅くなってきた)。「アマー」 ミカ「シャー アスアスアタン」[「ʔama:ʔ  
mikaʔʃa:ʔararatan] (あそこは昔は浅かった)。「ナマン」 ア「スアスアイヤー  
[「namaŋ ʔaʔraraija:] (今も浅いか)

アティ「スアン」[ʔatiʔraŋ] (形)

暑い。「シューヤ アティ「スアン」[ʔʃu:ja ʔatiʔraŋ] (今日は暑い)。シレー「シレ  
ー」 アティスア「ナ」ティ シューン[ʃire:ʔʃire:ʔ ʔatiraʔnaʔti ʃu:ŋ] (次第  
次第に暑くなってくる)。「アティスアー」 ナーン[ʔatira:ʔ na:ŋ] (暑くはない)。  
アティ「スアン」シャコー「ヤーン」 「ナカチ イーバ」[ʔtiʔraŋʃako:ʔ ja:n  
ʔnakaʃi ʔi:ba] (暑かったら家の中に入りなさい)

「アナ」[ʔana] (名)

穴。横穴。イラブ漁の漁場<岩穴>。イラブ (海蛇) が産卵のために集まる海岸の  
岩穴。ア「ナ」チ 「イキャビタン」[ʔaʔnaʔʃi ʔikjabitan] (イラブの漁場<岩穴>  
へ行ってきました<イラブ漁に行ってきました>)

「アミ」[ʔami] (名)

雨。「アミヌ プイ」ン[ʔaminu pʊiʔŋ] (雨が降る)。「ウーアミ」[ʔu:ami] (大雨)。  
「アミヌ ハタ「ブイ」チ」[ʔaminu hataʔbuiʔʃi] (雨が片降りしている。通り  
雨になっている。わたくし雨が降っている)。「フマー」 プラン「ミヤー」 ハタ「  
ブイ」 ヤ「トゥールヤー」[ʔʌma:ʔ pʊramʔmja:ʔ hataʔbuiʔ jaʔtu:ruja:] (こ  
こは降らないかなあ。片降り<通り雨。わたくし雨>だったんだなあ)

「アンダ」[ʔanda] (名)

油。豚の脂。石油。「アンダティブ」[ʔandatibu] (油壺)。「マーアンダ」[ma:ʔanda]  
(てんぷら油)。「ティブチ」 アンダ 「イリリバ」[ʔibuʃi ʔanda ʔiririba]  
(壺に油を入れなさい)。「ワース」 「アンダ スウイ」ン[ʔwa:nu ʔanda ʌuiʔŋ]  
(豚の脂をとる。豚の脂肉を煎じて油をとりだす)。ラン「ブ」チ 「アンダ 「イリ  
リバ」[ramʔpuʔʃi ʔanda ʔiririba] (ランプに灯油を入れなさい)

「アンダティブ」[ʔandatibu] (名)

油壺。豚のラードを入れておく小さな壺。

「イキ」[ʔiki] (名)

池。「フムイ」[ʔʌmui] (水溜り) ともいう。「フムイ」[ʔʌmui]は主に海底の深い  
ところをいう。久高島でいう「イキ」[ʔiki]は「水溜り」のことをいう。昔は村の前  
方に水溜りが二箇所あった。学校に水タンクのなかった頃は、その池から水を汲ん  
で清掃用に利用していたが戦後埋め立てられた。

イザイ「ガー」[ʔidzaiʔga:] (名)

イザイホーの神事の際に、新しく神女<巫女>になる女性たちが沐浴するのに用い

た井戸。水溜りになっている。イザイ「ガーヤ」 イザイ「ホーヌ スウシ」 イザイ「ニガイヌ」 ユナグン「シャーガ アミショー」ジ 「シュン」 トクマ[ʔidzaiˈgaːjaˈ ʔidzaiˈhoːnu θuʃiˈ ʔidzaiˈnigainuˈ junaguˈʃaːga ʔamiʃoːˈʔi ʃuˈn tukuma] (イザイガーはイザイホーの年にイザイ願いをする女性達が沐浴精進する所)

「イシ」[ʔiʃi] (名)

石。「イシ ティミン」[ʔiʃiˈ timin] (石を積む)。「グマイ」シ「gumaʔiˈ ʃi] (小石)。「イシ プリーン」[ʔiʃiˈ puriːŋ] (石を拾う)。「イシャー プリラ」ンキ「バ」[ʔiʃaːˈ puriraˈ ŋkiˈba] (石は拾うな)。「イシ」ン 「プリラ」ンキ「バ」[ʔiʃiˈ mˈp uriraˈ ŋkiˈba] (石も拾うな)。「イシ ナギーン」[ʔiʃiˈ nagiːŋ] (石を投げる)。「イシヌ」 ウプ「スアン」[ʔiʃinuˈ ʔupuˈraŋ] (石が多い)

「イシナグ」[ʔiʃinagu] (名)

小石。砂利。「イシナグ プリーン」[ʔiʃinaguˈ puriːŋ] (小石を拾う)

「イチバンジャー」[ʔitʃibanʔaː] (名)

一番座。「スック」[ʔoku] (床。床の間) ともいう。

「イチャグワーウミ」[ʔitʃagwaː ʔumi] (名)

烏賊釣り漁の外洋。外海。「イチャグワーウミ」チ 「ンギーン」[ʔitʃagwaː ʔumiˈ ʔi ʔŋiːŋ] (烏賊釣り漁の海に出る。外洋に出る)

「イリー」[ʔiriː] (名)

西。「ニシ」ハリ「niʃiˈ hari] (西風、北風)。「イリーバラ」[ʔiriːˈbara] (西側)。「スィラー 「イリーチ」 ウティーン」[ˈ θiraːˈ ʔiriːʔiˈ ʔutiːŋ] (太陽は西に沈む<落ちる>)。「スィラー イ「リーチ イッチ」 イキン」[ˈ θiraːˈ ʔiriːʔi ʔitʃiˈ ʔi kin] (太陽は西へ入っていく)。「シマヌ イリー「バラカイ」 ピシヌ 「アン」[ˈ ʃ imanu ʔiriːˈ barakaiˈ piʃinuˈ ʔaŋ] (島の西側に干瀬がある)

「イリハリ」[ʔirihari] (名)

西風。「イリハリヌ」 プキン「ʔiriharinuˈ pʻukin] (西風が吹く)

「イリビヒ」[ʔiriːʔi] (名)

西日が射すこと。「入り日」の義。「イリビヒッチ」 アティ「スア」ヌ 「ハー」ジョー 「クリバ」[ʔiriːʔitʃiˈ ʔatiˈraˈ nuˈ ˈhaːˈ ʔoːˈ ˈkuriba] (西日が射して<入り日して>暑いから早く戸を閉めなさい)。「イリビヌ」 シュラ「スアン」ムノー「ʔribinuˈ ʃuraˈramˈ munoː] (夕日<入り日>が美しいことよ)

「ウインジャー」[ʔuinʔaː] (名)

上座。「ウインジ ギンショーリバ」[ʔuinʔiˈ giŋʃoriba] (上座に<上に>お座りください)。「ウインジャーカヤー ギヤン」キ「バ」[ʔuinʔaːˈkajaːˈ gijaŋˈ kiˈba] (上

座<上の座>には座るな)。「ウインジャーカイ ギーブシャ<sup>ン</sup>」[「ʔuinɕa:kai gi:buʃa<sup>ŋ</sup>」] (上座<上の座>に座りたい)

「ウーアミ」[「ʔu:ami」] (名)

大雨。「ウーアミ ナタ<sup>ン</sup> ムン<sup>ヌ</sup>」[「ʔu:ami nata<sup>n</sup> m<sup>n</sup> mun<sup>n</sup> nu」] (大雨になっちゃった)

ウー「ゲーミ」[ʔu:ge:mi] (名)

真っ暗闇。「大暗闇」の義。「キヌーヤ<sup>ウーゲーミ</sup> ヤタル」[「kinu:ja<sup>ʔu:ge:mi</sup> jataru」] (昨日は真っ暗闇であった)

「ウカ」[「ʔuka」] (名)

陸地。「陸(おか)」の義。「ウミラ<sup>ウカッチ</sup> アガイン」[「ʔumira<sup>ʔukat</sup> ʔʰi ʔagain」] (海から陸に上がる)。ウミ「シグトー ヤミティ<sup>ウカッチ</sup> アガタン」[ʔumiʃiguto:jamiti<sup>ʔukat</sup> ʔʰi ʔagataŋ] (漁業<海の仕事>を止めて陸(おか)に上がった)

「ウキ」[「ʔuki」] (名)

沖。外洋。大海。「ウキチ<sup>ンギーン</sup>」[「ʔukitʰi<sup>ŋgi:ŋ</sup>」] (外海へ出る。イカ釣り漁の海へでる)。

「ウシュ」[「ʔuʃu」] (名)

潮。海水。「ウシュヌ ピーン」[「ʔuʃunu pi:ŋ」] (潮がひく)。

ウ「スントウ」[ʔuʃuntu] (名)

台所。「御末・所」の義か。女性が雑役や水仕事などに従事所の義から台所に意味が派生したものとかんがえられる。「ヤーヤ<sup>ウ「スントウ」</sup> ジ ギーバ

「ja:ja<sup>ʔuʃuntunɕi</sup> gi:ba」(君は下座<台所>で座りなさい)

「ウプ<sup>ジ</sup>」[「ʔupu<sup>ɕi</sup>」] (名)

沖縄本島。久高島から沖縄本島を指していることば。「大地」の義。ウプ「ジ<sup>チ</sup> ハンダ<sup>「ギーガ」</sup> イキン」[ʔupu<sup>ɕi</sup> ʔʰi ʰanda ʰgi:ga<sup>ʔikiŋ</sup>」] (沖縄本島の知念村へ芋蔓を貰いに行く)。台風の後知念村へ渡って芋蔓を貰ってきて植えた。

「ウプスイガー」[「ʔupu θiga:」] (名)

(固有)。大瀬井戸。大石井戸とも書く。

「ウプティキンユー」[「ʔuputikinju:」] (名)

満月。「大月の夜」の義。「シューヤ ウプティキン<sup>ユー</sup> ヤル」[ʃu:ja ʔuputikin<sup>ju:</sup> ʰjaru」] (今日は満月の夜だ)

「ウ<sup>ミ</sup>」[「ʔu<sup>mi</sup>」] (名)

海。漁場。「ウミチ<sup>イキン</sup>」[「ʔumitʰi<sup>ʔiki</sup> ŋ」] (海に行く<漁に出る>)。「ウミ



ル 「アッキル」[ʔumiru ʔakkiru] (漁をしている<海を歩いている>)。「ウミチ  
ンギーン」[ʔumitʃi ʔŋi:ŋ] (漁に出る<海に行く>)。「ウミノ ミーン  
」[ʔuminu mi:iŋ] (海が見える)

ウミ「バタ」[ʔumi ʔbata] (名)

海端。ウミ「バター ンブキタイ シーヤー」デー「ジャクトウ アスイバンキバ  
」[ʔumi ʔbata: ʔmbukitai ʃi:ja: ʔ de: ʔʃi jakutu ʔa θbaŋkiba] (海端は溺れた  
りしたら大変だから<そこでは>遊ぶな)

「ウンティキ」[ʔuntiki] (名)

今月。この月。

ガ「キ」[ga ʔki] (名)

崖。断崖。久高島の西側海岸にある風葬の跡地。ガ「キ」ヌ 「ホーッタン」[ga ʔki  
nu ʔho:ttan] (崖が崩れた)。「ガキヤー ホー「リラン」」[ʔgakja: ho: ʔriran] (崖  
は崩れない)

「カンティ」オー「[kanti ʔo:]」(名)

「関帝皇」の義か。関羽を神として尊崇する軸物。

「ギーリ」[gi:ri] (名)

掛け軸。床の間に掛ける軸物。「カンティ」オー「[kanti ʔo:]」(関帝皇。関羽神の軸  
物)や七福神の軸物。昔は一間幅の床が多かったのでギーリも三幅対の軸物を掛け  
た。

ギー 「ワーティキ」[gi: ʔwa:ʔtiki] (連)

良い天気。「シューヤ 」スィラン 「スィティ ギー 「ワーティキ ナトゥーン  
」」[ʔʃu:ja θran θti gi: ʔwa:ʔtiki natu:ŋ] (今日は太陽も照って良い天気にな  
った)

「ギマー」[ʔgima:] (名)

斧。「アガララ」 ギマー 「ハティ」 フー「バ」[ʔagarira ʔ gima: ʔhati ʔu:  
ʔba] (東隣の家から斧を借りてきなさい)。「ギマー 「スアーマ」 スアムン 「ワ  
イン」」[ʔgima: ʔra:ma ʔ ramuŋ ʔwain] (斧で薪を割る)

「キリ」[ʔkiri] (名)

霧。

ギ「レーン」[gi ʔre:ŋ] (動)

清掃する。「ハー ギ「レーン」」[ʔha: gi ʔre:ŋ] (井戸の清掃をする。井戸浚えをす  
る)

「キンバー」[ʔkimba:] (名)

金歯。明治以降、標準語から新しく借用された言葉。「キンバー ウイー」ン「[ʔ

kimba: ʔui:ʔŋ] (金歯を入れる<植える>)

クチ「ハリ[kuʔiʔhari] (名)

東風。ク「チハリヌ」 プキン[kuʔʔiharinuʔ pukiŋ] (東風が吹く)

ク「ティハリ[kuʔʔihari] (名)

東風。「東風・風<こち・かぜ>」の義。

「グミ[ʔgumi] (名)

ごみ(塵芥)。「グミ アティミーン[ʔgumi ʔatimi:ŋ] (ごみを集める)。「グミ」ヌ  
「ミーチ イッ」チャン[ʔgumiʔnuʔ mi:ʔʔi ʔitʔʔaŋ] (ごみが目に入った)。「グミ  
スウリバ[ʔgumi θuriba] (ごみを取りなさい)

「ク」ム[ʔkuʔmu] (名)

雲。アミ「グム[ʔamiʔgumu] (雨雲。真っ黒い雲)。アミ「グムヌ」 ハカティ チ  
チャン[ʔamiʔgumunuʔ hakati ʔaŋ] (雨雲がかかってきた)。「ニシラ」 クムティ  
チャン「ドー」 フ「シムノー」 ハー 「イリランバー[ʔniʔʔiraʔ kumuti ʔaŋʔ  
do:ʔ ʔuʔʔimuno:ʔ ha: ʔiriramʔba:ʔ] (北から曇ってきた。干し物を早く取り  
入れなさい)

クムイ「ビー[kumuiʔbi:] (名)

曇天。曇っている日。「曇り日」の義。クムイ「ビーヤ」 シェンタコー 「スアンキ  
バ[kumuiʔbi:jaʔ ʔentakko:ʔ ʔaŋkiba] (曇っている日は洗濯はするな)

クム「イン[kumuʔiŋ] (動)

曇る。空が曇る。「シューヤ スイラヌ」 クム「トゥーン[ʔʃu:ja θiranuʔ kumu  
ʔtu:ʔŋ] (今日は空が曇っている)。クム「ラン[kumuʔraŋ] (曇らない)。クム「ター  
」 グ「ラン[kumuʔta:ʔ guʔraŋ] (曇ってはいない)。クム「トー」ンバーイ[kumu  
ʔto:ʔmba:i] (曇っている時)。クム「トゥーンシャコー」 イカン[kumuʔtu:ŋʔako:  
ʔ ʔikaŋ] (曇っていたら行かない)。「スイラヌ クム「トゥーティン」 イキ「ス  
アー[ʔ θiranu kumuʔtu:ʔtiŋʔ ʔikiʔra:ʔ] (空が曇っていても行くさ)

クム「トゥーン[kumuʔtu:ŋ] (動)

曇っている。「ワーティキヌ」 クムティチャン[ʔwa:ʔtikinuʔ kumutiʔaŋ] (天気  
が曇ってきた)。「スイラヌ クムティチャン[ʔ θiranuʔ kumutiʔaŋ] (空が曇っ  
てきた)。「スイラヌ クム「トゥーイヤ」 ウミ「チャー」 イ「カンキバ[ʔ θiranu  
kumuʔtu:ʔijaʔ ʔumiʔʔa:ʔ ʔiʔkaŋkiba] (空がくもっているときは、海へは行  
くな)

「クラスアン[ʔkuraraŋ] (形)

暗い。「シレーニ クラスアナティ」 シューン[ʔʃire:ni kuraranatiʔ ʃu:ŋ] (次  
第に暗くなってくる)。キヌー「ヨーカ」 シューン「ガル クラスアル[kinu:ʔjo:kaʔ

ʃu:ŋ「garu kurararu」(昨日より今日が暗い)。「ゲーミンバーイヤ」 プカ「チャー  
ンギラン」キバ[「ge:mimba:ija」 puka「t̪a: ʔŋgiraŋ」kiba] (暗闇の時は外に出  
るな)。ウー「ゲーミ」[ʔu:「ge:mi」] (大暗闇。真つ暗闇)

グ「リージン」[gu「ri:ʃiŋ」] (名)

ご霊前。位牌。仏壇。

ㄱ「グングワティ」 「ダーティー」[ㄱ「gungwati」da:ti:] (連)

五月の閏月。五月が二月あること。五月の寄り月。

「コーリ」[「ko:ri」] (名)

氷。冷凍用の氷。新しく標準語から借用された言葉。「フーリとは言わない。

「ザキ」[「ɬaki」] (名)

岬。半島。チャン「ザキ」[tʃan「ɬaki」] (喜屋武岬)。チナ「ザキ」[tʃina「ɬaki」] (知念村  
の知名岬。久高島からはそこを曲がって馬天港へ行く)

「ジー」[「ʃi:」] (名)

地。地面。ジー「カヤー」ギヤンキバ[ʃi:「kaja: gijaŋkiba」] (地べたに座るな)。

ジー 「プフィン」[ㄱ「ʃi:」 ㄱ「pʰuiŋ」] (地面を掘る)。ㄱ「ジーヌ」 「ハタスァン」[ㄱ「ʃi:nu」  
「hataran」] (地面が硬い)

シ「チャー」ラ[ʃi「t̪a:」ra」] (名)

追い風。シ「チャーラバイ」 ナティ ピヒャーサア」 ティチャン[ʃi「t̪a:rabai nati  
pʰja:ra」 tiŋan」] (追い風<順風>になったので早く着いた)

シッタイ「ジー」[ʃittai「ʃi:」] (名)

湿地。水けの多いじめじめした草地。久高島では砂地が多いのでシッタイジーはほ  
とんどない。

「ジパー」[「ʃipa:」] (名)

簪。フ「ガニジパー」[ʔu「ganiʃipa:」] (黄金の簪) は王子や按司階級の人が挿す事が  
できた。

「ジビタムン」[「ʃibitamun」] (連)

怠け者。ピッ「チー」 ニンタイ 「ウキタイ シュスァー」 ジビタ「ムン」 ヤル  
[pit「t̪i:」 nintai 「ʔukitai ʃura:」 ʃibita「mun」 jaru」] (一日中寝たり起き  
たりしている者は怠け者だ)

「シマ」[「ʃima」] (名)

島。村。故郷。ワッ「ター」 シマ[wat「ta: ʃima」] (私達の島)。ワッ「ター」 シマ  
チ」 イモーリバ[wat「ta: ʃimat̪i」 ʔimo:「riba」] (私達の島へおいでください)。  
イッ「ター」 シマー」 マー「ガ」チェー[ʔit「ta: ʃima:」 ma:「ga」t̪e:] (君達の  
島はどこか)。「タシマンチュ」[「taʃimanʔu」] (他島の人。外来者)

「シム[<sup>ʃ</sup>imu] (名)

下。台所。ウ「スウントゥ[<sup>ʔ</sup>u<sup>ʃ</sup>θuntu] (台所) ともいう。

「シム[<sup>ʃ</sup>imu] (名)

霜。新しく標準語から借用された言葉。久高島に霜が降りることはないという。

「シャー[<sup>ʃ</sup>a:] (名)

下。下座。「ヤーヤ シャンジ」 ギーバ[<sup>ʃ</sup>ja:ja ʃanʃi<sup>ʃ</sup> gi:ba] (君は下<下座>で座りなさい)

「シャンジャー[<sup>ʃ</sup>anʃa:] (名)

下座。下の座。「ヤーヤ シャンジ」 ギーバ[<sup>ʃ</sup>ja:ja ʃanʃi<sup>ʃ</sup> gi:ba] (君は下座で座りなさい)。「ヤーガ ギーヤ」 ワヌン 「ギースァ[<sup>ʃ</sup>ja:ga gi:ja<sup>ʃ</sup> wanun<sup>ʃ</sup> gi:ra] (君が座るなら私もすわるよ)

シュ「プタイシュガタ[<sup>ʃ</sup>u<sup>ʃ</sup>putaiʃugata] (名)

みすばらしい姿。可哀相な身なり。哀れな姿形。

「ジンプー[<sup>ʃ</sup>impu:] (名)

順風。追い風。舟の進行方向へ吹く風。

スァ「カ[ra<sup>ʃ</sup>ka] (名)

坂。「フマー スァカ ナトゥーン[<sup>ʃ</sup>Φuma: raka natu:ŋ] (ここは坂になっている)

スァカ「ジ[raka<sup>ʃ</sup>ʃi] (名)

坂の頂き。地名。丘。

「スァティキ[<sup>ʃ</sup>ratiki] (名)

来月。来る月。

「スァマ[<sup>ʃ</sup>rama] (名)

玉。「スィップーダマ[<sup>ʃ</sup>θippu:dama] (鉄砲玉。旅に出たきり帰らない人)。ミー「ハガン」ヌ 「スァマ[mi:ʃhagan<sup>ʃ</sup>nu<sup>ʃ</sup> rama] (水中眼鏡の玉。ガラス。)

「スィーキラ[<sup>ʃ</sup>θi:kira:] (名)

にじ (虹)。スィー「キラ」ヌ ハカ「タン[<sup>ʃ</sup>θi:ʃkira:ʃnu haka<sup>ʃ</sup>taŋ] (虹がかかった)。スィー「キラヌ」 ンギ「タン[<sup>ʃ</sup>θi:ʃkira:nu<sup>ʃ</sup> ʔŋgi<sup>ʃ</sup>taŋ] (虹が出た) というのが普通の言い方である。スィー「キラヌ」 ンギ「タンドー[<sup>ʃ</sup>θi:ʃkira:nu<sup>ʃ</sup> ʔŋgi<sup>ʃ</sup>tando:] (虹が出たぞ)

「スィー」ン[<sup>ʃ</sup>θi:ʃŋ] (動)

照る。太陽が照る。「スィラヌ 「スィー」ン[<sup>ʃ</sup>θiranu<sup>ʃ</sup> θi:ʃŋ] (太陽が照る)。「ティキヌ スィー」ン[<sup>ʃ</sup>tikinu<sup>ʃ</sup> θi:ʃŋ] (月が照る)。「スィラン[<sup>ʃ</sup>θiraŋ] (照らない) スィ「トゥーン[<sup>ʃ</sup>θi<sup>ʃ</sup>tu:ŋ] (照っている)。スィーンバー「イ[<sup>ʃ</sup>θi:mba:ʃi] (照る

とき)。ㇿスィラヌ スィー「ヤ」ー[ㇿ θiranu θiːˈjaːˈɪ] (太陽が照ったら)。ㇿスィティン 「イカン[ㇿ θitiŋ ˈʔikaŋ] (照っても行かない)。スィリ「バ[θiriˈba] (照れよ)

ㇿスィティ[θiti] (名)

季節。ㇿスィティヌ 「ハワイン[ㇿ θitinu ˈhawaiŋ] (季節が変わる)。ㇿスィティヌ ハ「ワイヤー パハナシキㇿン ハカイヤツ「スアン[ㇿ θitinu haˈwaijaː ˈpʰanaˌʃikiˈŋ hakaijaˌraŋ] (季節の変わり目は風邪もひきやすい)

ㇿスィナ[ˈθina] (名)

砂。ㇿスィナヌㇿ シュラ「スアン[ˈθinanu ˈʃuraˈraŋ] (砂が美しい)。シュラ「スィナ[ˈʃuraˈθina] (美しい砂)。ㇿパハマス 「スィナ[ㇿ ˈpʰamanu ˈθina] (浜の砂)。ㇿミヤーチㇿ スィナㇿ マキン[ˈmjaːtʃiˈ θina ˈmakiŋ] (庭に砂を撒く。正月前になると浜から砂を担いできて庭に撒いた)

ㇿスィバㇿナ[ˈθibaˈna] (名)

海岸の大きな岩。大岩。ㇿスィバナヌㇿ ホーツ「トゥーㇿン[ˈθibananu ˈhoːtˈtuːˈɪŋ] (大岩が崩れている<壊れている>)。ㇿスィバナヌㇿ ホー「リトゥーㇿン[ˈθibananuˈhoːˈrituːˈɪŋ] (海岸の大岩が崩れている<壊れている>)

ㇿスィミ[ˈθimi] (名)

裏座。ㇿスィミ[ˈθimi] (裏座) は、普通は夫婦の寝室として利用された。ㇿンシュ「ガーミ[ŋʃuˈgaːmi] (味噌甕)、穀物の種子を入れる甕の保管場所としても用いられた。

ㇿスィミ[ˈθimi] (名)

隅。ㇿユスィミ[ˈʃu θimi] (部屋の四隅)。ㇿスィミカヤーㇿ ギ「ヤンキバ[ˈθimikajaː ˈgiˈjaŋkiba] (座敷の隅には座るなよ)

ㇿスィラ[ˈθira] (名)

空。天。スィラ「カイ スウイヌㇿ スウ「ルーㇿン[θiraˈkai θuinuˈ θuˈruːˈɪŋ] (空に鳥がとんでいる)。スィラ「カイ スウイヌ スウリㇿ アツ「キン[ㇿ θiraˈkai θuinu θuriˈ ʔakˈkiŋ] (空に鳥が飛んでいる)

ㇿスィラ[ˈθira] (名)

太陽。ㇿスィラヌ 「アガイン[ㇿ θiranu ˈʔagaiŋ] (太陽が昇る)。ㇿスィラヌ 「イーㇿン[ㇿ θiranu ˈʔiːŋ] (太陽が入る<沈む>)

ㇿスィㇿン[ˈθiŋ] (名)

天。空。ㇿキブイヌ スィㇿンチㇿ ヌブ「イン[ˈkibuinu θintʃiˈ nubuˈiŋ] (煙が天に昇る)

ㇿスィㇿンガーㇿラ[ˈθiŋgaːra] (名)

天の川。「スアナバター マングラー スィンガーラー」 ユー ミー「ン」[「r  
anabata:mangura: θinga:ra: ju: mi:「η」] (七夕の頃には天の川がよく見え  
る)

スウ「キー」ン[θu「ki:「η」] (動)

溶ける。スウ「キティ」 ナー「ンナ」ティ ナーン[θu「kiti」 na:「nna」ti na:「η」]  
(溶けてなくなってしまった)。「ウヌ フーラー」 ナ「カナ」カ スウ「キラン」[「?unu  
Φu:ra:」 na「kana」ka θu「kiran」] (この氷砂糖はなかなか溶けない)。チャー「ジ  
ャワンチ イットウヌ フーラー」 スウ「キーヤ」 ヌミ「バ」[「tʃa:「ɕawantʃi  
ʔittu:nu Φu:ra:」 θu「ki:ja」 numi「ba」] (茶碗に入っている氷は溶けたら飲み  
なさい)。スウキヤツ「スアン」[θukijar「ra」] (溶けやすい)

「スウギャーندیー」[「θugja:ndi:」] (名)

(固有) 突堤の所にある井戸。「突き出た所」の義か。

「スウク」[「θuku」] (名)

床の間。床。スウ「クヌハミ」[θu「kunuhami」] (床の神様)と掛け軸が掛けてあり、  
ウ「コール」[?u「ko:ru」] (香炉)が安置されてある。16歳から70歳までの男子は旧暦  
2月にウプヌシガナシ[?upunuʃiganaʃi]のウグワンダティ[?ugwandati] (祈願)  
の際にイシキ浜へ行き、健康祈願のためにマーイシ (真石。霊石の小石)を家族一  
人につき三個ずつ拾い、それを床の間に安置する。旧暦12月のウブクイ[?ubukui]  
の祭りには、その霊石 (真石。小石)を元のイシキ浜に返す。

「スウク」[「θuku」] (名)

底。「ハーヌ スウク」[「ha:nu θuku」] (井戸の底)。「ナ」ビヌ スウク[na「binu θ  
uku」] (鍋の底)。「ウミヌ スウク」ヌ ミーン[「?uminu θuku」nu mi:「η」] (海の  
底が見える)。「ジツピル」 スィ「ミーヤ」 スウ「ク」ン ミーン[「ɕippiru」 θi  
「mi:ja」 θu「ku」m mi:「η」] (十尋潜ると海の底が見える)

「スウリトゥーン」[「θuritu:「η」] (動)

風いでいる。風が止まっている。「ハリヌ」 スウリトゥーン[「harinu」 θuritu:「η」]  
(風が止まっている。風いでいる)

「スエープーナミ」[「θe:pu:nami」] (名)

高波。「台風波」の義。台風で波が高くなること。「ワーティキ ワッスアヌ スエ  
ープーナミ」 ナタン[「wa:tiki warranu θe:pu:nami」 nata「η」] (天気が悪くなっ  
て高波<台風波>になった)

「スエーブフー」[「θe:pΦu:」] (名)

台風。大風。「スエーブフーヌ」 プキン[「θe:pΦu:nu」 p'ukin」] (台風が吹く)

スオー「ブカ」[θo:「buka」] (名)

肥沃な土地。肥えた土地。「フマー」 スォー「ブカ ナティ」 ムンドウク「ヤー」 ユー ディキーン[「Φuma: ʔ θo: ʔbuka nati ʔ munduku ʔja: ʔ ju: ʔ diki:ŋ] (ここは肥沃な土地になっていて作物はよくできる)

「チ」ジ[「tʃi ʔ tʃi] (名)

頂上。頭の上。ヤーヌ 「チ」ジ[ja:nu ʔ tʃi ʔ tʃi] (家の頂上、薨)。ヤーヌ 「チ」ジ カイ スウイヌ スウマトウー「ン[ʔja:nu ʔ tʃi ʔ tʃikai θuinu θumatu: ʔ ŋ] (家の頂上に鳥が止まっている)

「チ」ジ[「tʃi ʔ tʃi] (名)

頂き。てっぺん。頭の旋毛。「ヤマヌ 「チ」ジ[ʔjamanu ʔ tʃi ʔ tʃi] (山の頂き)。「ヤーヌ 「チ」ジ[ʔja:nu ʔ tʃi ʔ tʃi] (家の頂き)。「アンチュヌ チ」ジ「ヌ ウイカイ 「ムシヌ」 グン[ʔantʃunu ʔ tʃi ʔ tʃi nu ʔ uikai ʔ muʃinu ʔ guŋ] (あの人の頭のてっぺんに虫がいる)。

「チ」ユ[「tʃi ʔ ju] (名)

露。「チュヌ」 ウリー「ン[ʔtʃunu ʔ uri:ŋ] (露が降りる)

チュ「タイ[tʃu ʔ tai] (名)

一滴。「一垂れ」の義。「ハーヌ ミラー」 チュ「タイン」 ウティ「ラン[ʔha:nu mira: ʔ tʃu ʔ taiŋ ʔ uti ʔ ran] (井戸の水は一滴も落ちない)

「ティ」キ[「ti ʔ ki] (名)

月。「ティ」キヌ ンギ「タン[ʔtikinu ʔ ŋgi ʔ tan] (月が出た)。

「ティ」キ[「ti ʔ ki] (名)

月。「ティ」キヌ スィトウー「ン[ʔtikinu θitu: ʔ ŋ] (月が照っている)。「スィ」ラン[θ i ʔ ran] (照らない)。「スィ」トウータン[θ i ʔ tu: tan] (照っていた)。「ハー スィ」リバ[ʔha: θ i ʔ riba] (早くてれ)

ティ「キンユー[ti ʔ kinju:] (名)

月夜。「月の夜」の義。

「ティ」ブ[「tibu] (名)

粒。マミ「ティ」ブ[mami ʔ tibu] (豆粒)。「ウプ」ティ「ブ[ʔupu ʔ tibu] (大粒)。「フマ」ティ「ブ[Φuma ʔ tibu] (小さな粒。細かい粒)。「フミ」テ「ブ」 スウ「メー」リバ[Φumi ʔ tibu ʔ θu ʔ me:riba] (米粒を拾いなさい)

「ティ」ユ[「tiju] (名)

梅雨。「ティ」ユ「チ 「イツ」チャン[ʔtiju ʔ tʃi ʔ it ʔ tʃan] (梅雨に入った)。「ティ」ユヌ アキタン[ʔtiju ʔ akitan] (梅雨があけた)。「ティ」ユヌ スィター「 ムンヌ クサリヤツ「スァン[ʔtiju ʔ θita: ʔ munnu kusarija ʔ ran] (梅雨の時期<季節>は食べ物<もの>が腐れやすい)

「ドゥル」[**du** ru] (名)

泥。「ドウルヌ」 パハニーン[**durunu** pʰani:n] (泥が跳ねる)。「ミチヌ」 ドウルブツ「ター ナトゥーン」[**miʈʰinu** durubut ta: natu:n] (道がぬかるんでいる<泥んこ道になっている>)

「ナティ」[**nati**] (名)

夏。「マナ」ティ「mana ti」(真夏)。「ナティヌ」 チャン[**natinu** tʃaŋ] (夏が来た)。「ナティ」 ナタン[**nati** nataŋ] (夏になった)。「ナター」 アティスアン[**nata:** ʔatiraŋ] (夏は暑い)。「ナティラ」 パハジミン[**natira** pʰaʈʰimiŋ] (夏から始める)。「ナティ」 ナティン シグトゥ シュン「バー「ヤネー」[**nati natiŋ** figutu ʃu mba: ʃane:] (夏になっても仕事をするのかね)

「ナ」ミ「na mi」(名)

波。「ナミ」 「ハンジュン」[**na mi** hanʈʰuŋ] (波をかぶる)。「ナミヌ」 「ユシティ」 シューン[**na mi nu** ʃuʈʰiti ʃu:n] (波が寄せてくる)

「ナンジャ」[**nanʈʰa**] (名)

銀。「ナンジャジ」パー[**nanʈʰaʈʰi** pa:] (銀の簪)。「ナンジャジ」パー サシュン[**nanʈʰaʈʰi** pa: saʃu n] (銀の簪を挿す)

「ニシ」[**ni ʃi**] (名)

北。「ニシ」ハリ「ni ʃi hari」(北風)

「ニシハリ」[**ni ʃi hari**] (名)

北風。「ハリヌ」 ニシナイヤー「ウミヤー」 「アリー」[**harinu ni ʃinaija:** ʔumja: ʔari:n] (風が北になると海が荒れる)。「ニシハリ」 プ「キーヤ」 ビヒー「スア」 「ナ」ティ シューン[**ni ʃi hari** p'u ki:ja pʰi:ra na ti ʃu:n] (北風が吹くと寒くなってくる)

「ニヌファ」ブシ「ninu ʈʰa bu ʃi」(名)

北斗七星。「子の方向にある星」の義。「ヌ ファ」は「～の方」の意味である。「カジャ マトゥムニ ニウシヌ ファ」(『上り口説』)とある。

「ニバンジャー」[**nibanʈʰa:**] (名)

二番座。仏間。グ「リージン」[**gu ri:ʈʰiŋ**] (御霊前。位牌。仏壇)が安置されている部屋。家族はこの部屋で過ごすことが多い。戸主や祖父はこの部屋でスア「カウジン」[**ra kauʈʰiŋ**] (高お膳)に食物を載せて食事をした。他の家族はウスウントゥで食事をした。

ヌク「スアン」[**nuku ran**] (形)

暖かい。「温い」の義。チカグ「ロー」 ヌクスア「ナティ」 チャン[**tika guro:** nukura nati tʃaŋ] (近頃は暖かくなってきた)。キヌ「ヨーカ」 シューヤ ヌク「



スアン[kinu ʔjoːkaː ʃuːja nuku ʔraŋ] (昨日より今日は暖かい)。ヌク「スアン  
ピー」ヌ 「ティディチューン[nuku ʔram piːˈnu ʔtidiʔuːŋ] (暖かい日が続いて  
いる)。ヌク「スア」ヌ 「シグトウン シーヤッスアン[nuku ʔraˈnu ʃigutun  
ʃiːjarran] (暖かくて仕事もしやすい)。「キヌーヤ ヌクサタン[ʔkinuːja nukura  
taŋ] (昨日は暖かかった)。ヌ「クスアンシャコー」ウ「ミチ イカ[nu ʔkuraŋʃako  
ːˈ ʔu ʔmiʔi ʔika] (暖かかったら漁に行こう<海へ行こう>)

「ネー」[ʔneːˈ] (名)

地震。[nawi] (地震の古語)。ネー「ヌ ウクイン[neːˈnu ʔukuin] (地震が起こる)。  
ネー「ヌ ユイン[neːˈnu juin] (地震が起こる<揺れる>)。ネー「ヌ ユタン[neː  
ˈnu jutau] (地震が起こった<揺れた>)

「ハー」[ʔhaːˈ] (名)

井戸。「ハーチ ミリ クミーガ」イキン[ʔhaːʔi miri kumiːgaː ʔikin] (井戸へ  
水汲みに行く)。井戸は島の西海岸沿いに分布している。地下水が崖の割れ目から湧  
出するのをコンクリートで囲って溜め、生活用水として利用した。「ウプスイガー」[  
ʔupuθigaːˈ] (大瀬井戸。大石井戸とも書く)。「スウギヤーンディー」[ʔθugjaːndiːˈ]  
(突堤の井戸)。パハシ「ギャー」[pʰaʃi ʔgjaːˈ] (飲料水専用の井戸)。ヤマ「ガー」[jama  
ʔgaːˈ] (日常の生活用水を取る井戸) などがある。

「ハー」ギ[ʔhaːˈgi] (名)

陰。影。「アティサクトゥ フマー」ハー「ギ ヤクトゥ フマ」チ フー「バ」[ʔatir  
akutu ʔumaːˈ haːˈgi jakutu ʔumaːʔi ʔuːˈba] (暑いから、ここは陰だから、  
ここへ来なさい)。「チュヌ ハーギ」[ʔʃunu haːgi] (人の影)。「チュヌ ハーギ  
ナヤーマ スー」ン ミー「ランタン」[ʔʃunu haːgi najaːma nuːˈm miːˈrantau]  
(人の影になって何も見えなかった)。容姿。顔貌。シュラハー「ギ」[ʃurahaːˈgi]  
(美人、美しい容姿)

「ハニ」[ʔhani] (名)

鉄。金属の総称。「ヘーヤ ハニシャーマル」トウクイル[ʔheːja haniʃaːmaruˈ  
tukuiru] (鋤は鉄で<ぞ>作る)。「ハナー」ハ「タスアン」[ʔhanaːˈ haˈtarau]  
(金属は<かね>硬い)

パハ「ギジー」[pʰa ʔgiʃiːˈ] (名)

痩せた土地。「剥げ地」の義か。表土が少なく、作物の生長しない痩せ地。「フマー  
」パハギ「ジー ナティ」ムンドウク「ヤー」ディキ「ラン」[ʔumaːˈ pʰagi  
ʃiː natiˈ munduku ʔjaːˈ diki ʔraŋ] (ここは痩せた土地になっていて作物は稔  
らない<生産出来ない>)。戦前は男性は畑仕事をしなかったし、自分の畑が何処に  
配分されてあるかも知らない状態であった。

パハシ「ギャー」[pʰaʃiˈɡjaː] (名)

(固有) 飲料水専用の井戸。

「パハ」マ[ˈpʰaːma] (名)

浜。「マパハマ」[ˈmaˌpʰama] (地名)。「ウパハーマ」[ˈʔuˌpʰaːma] (地名。＜大きな浜＞の義)。「シマーシ」[ˈʃimaːʃi] (地名)。「ウスィ」バマ[ˈʔuθiˈbama] (地名)。「イシキバ」マ[ˈʔiʃikibaˈma] (地名)。「スア」チバ「マ」[raˈʧibaˈma] (地名)。「ウグワンバ」マ[ˈʔugwambaˈma] (地名。クボウタキの西海岸にある)。「メーギバマ」[ˈmeːgibama] (地名。イラブガマの近くにある)。「ユナンバマ」[ˈjunambama] (地名。単にパハマともいう。イラブガマの西側にある)。「ウラバ」マ[ˈʔurabaˈma] (地名)

「パハマバタ」[ˈpʰamabata] (名)

浜端。「パハマ」バタ「ウカー」シヤクトウ「ア」スイバンキバ[pʰamaˈbataːˈʔukaːˈʃakutuˈʔaˈθibaŋkiba] (浜端は危ないから、＜そこでは＞遊ぶな)。

「ハリ」[ˈhari] (名)

風。「ニシハリ」[ˈniʃihari] (北風)。「フェー」ハリ[ˈʰeːˈhari] (南風)。「クチ」ハリ[kuʧiˈhari] (東風)。「イリハリ」[ˈʔirihari] (西風)。「ン」ケーハリ[ˈʔŋˈkeːhari] (向かい風)。「スエープフー」[ˈθeːpʰuː] (台風)。「ハリヌ」プキン[ˈharinuˈpʰukin] (風が吹く)。「ジンプー」[ˈʧimpuː] (順風)。

パハリ「トゥーン」[pʰariˈtuːŋ] (動)

晴れている。「アミー」パハリ「タン」[ˈʔamiːˌpʰariˈtaŋ] (雨があがった。雨が晴れた)。「アミヌ」パハ「リーヤ」イキン[ˈʔaminuˌpʰaˈriːjaˈʔikin] (雨が晴れたら行く)。「アミヤー」ナマ「パリ」ラン[ˈʔamjaːˌnamaˈˌpariˈraŋ] (雨はまだ晴れない)。「アミヤー」シレー「シレー」パリティ「シューン」[ˈʔamjaːˌʃireːˈʃireːˌpʰaritiˈʃuːŋ] (雨は次第に晴れてくる)。「チムヌ」パハリタン[ˈʧimunuˌpʰaritaŋ] (心が晴れた)。「ヤーガ」イチ「スウラチ」ワナー「チモ」パハリ「タスアー」[ˈjaːgaˌʔiʧiˈθuraʧiˈwanaːˌʧimoːˌpʰariˈtaraː] (君が言ってくれて私は心がはれたよ)

「ハリワラ」[ˈhariwaːra] (名)

向かい風。「風上方」の義か。舟の進行方向から吹いてくる風。「ハリワラ」ナティル「フギ」グッシャタル[ˈhariwaːraˌnatiruˈʰugiˈguʃʃataru] (向かい風になって漕ぎ辛かった)。「アン」チル「ニンスア」ナタル[ˈʔanˈʧiruˈninraˈnataru] (それで遅くなってしまったのです)

ハン「ヌ」ミ[hanˈnuˈmi] (名)

雷。ハン「ヌミヌ」ナ「トゥーン」[hanˈnuminuˈnatuːŋ] (雷が鳴っている)。ハ

ン「ヌミヌ ウツ」タン[han「numinu ʔut」tan] (雷が落ちた)

「ピーー」[「pʰiːː】 (名)

火。「ピーー」ティキリバ[「pʰiːː ʔtikiriba] (火をつけなさい)。「ピーー」メーシュン[「pʰiːː ʔmeːʃuŋ] (火を燃やす)。「ピーヌ」キヤーイン[「pʰiːnu ʔkjaːiŋ] (火が消える)。「ピーー」ハラシンショーリバ[「pʰiːː ʔharaʃiŋʃoriba] (火を貸してください)

「ピーシュ」[「pʰiːʃu】 (名)

干潮。「引き潮」の義。「ピーシュ」ナタン[「pʰiːʃu natan] (引き潮になった)。「ピーシュ」ナタ「ン ムンヌ 「サク 「スウイ「ガ「 イカ[「piːʃu nata「m munnu「 raku ʔθuiga ʔika] (引き潮<干潮>になったから蛸獲りに行こう)

「ピシ」[「pʰiʃi】 (名)

干瀬。環礁。海中に出来たり、島を取り巻くように発達した珊瑚礁。干潮時には干上がるので、そこで潮干狩りをする。「ピシヌ」ン「ギーヤ「 サク 「スウイ「ガ「 イカ[「pʰiʃinu ʔŋʔgiːja ʔraku ʔθuiːga ʔika] (干潮になって干瀬がでたら蛸を獲りに行こう)。「ピシ」ン「ジ イユ クワー「チ 「フー[「piʃi nʔʃi ʔiju kwaːʔ ʔʃi ʔΦuːː] (干瀬へ行って魚を釣って来よう)

干瀬。島を取り巻く環礁。ピシ「ナミヌ「 ンギ「タン[pʰiʃi「naminu ʔŋgi「tan] (干瀬の波が出た。天気が悪くなる前兆である)。「ピ「シ」ン「ジ 「イ「ユ 「クワーシュン[pi「ʃi ʔnʔʃi ʔʔiːju ʔkwaːʃuŋ] (干瀬に行って魚を釣る)

ヒ「ジムン[ʃi「ʃimun] (名)

精霊。木の精。背は小さく赤茶けたおかっぱ頭をしているという。漁がうまく、その友達になると豊漁になるという。朝水汲みに出たままヒジムンに化されて姿を隠し二、三日後に探し出された人がいたという。

ピ「チャイン[pi「ʧain] (動)

光る。ピ「カイン[pi「kain] (光る) ともいう。「プシヌ」ピカ「トゥーン[「puʃinu pika「tuːŋ] (星が光っている)。「ア「ヌ」チョー「 シャ「ク ナ「ティ 「ミー 「ピ「チャティ 「グン[ʔa「nu ʧoːː ʃa「ku naːti ʔmiːpiʧati ʔguŋ] (あの人は怒って目を光らせている)。「ウン」チュヌ「 ミーヌ ピ「チャイヤ「 ウトゥルスアン[「ʔun ʧunuː miːnu pi「ʧaija ʔʔutururaŋ] (あの人が目を光らせたなら恐ろしい)

ピヒー「スアン[pʰiː「ran] (形)

寒い。ピヒースァ「ナイン[pʰiːra「naiŋ] (寒くなる)。「ピヒースァー」ナーン[「pʰiːraːːnaːŋ] (寒くない)。「ピヒー」スァタン[pʰiː「ratan] (寒かった)。「シューヤ」ピヒー「スァヌ[「ʃuːja pʰiː「ranu] (今日は寒い<寒くて～>)。「ピヒースァ」ナ「テ

イシューン[<sup>ʔ</sup>Phi:ra <sup>na</sup> ti <sup>ʔ</sup>ʃu:ŋ] (寒くなってくる)

ピヒ「ジュラスア」[<sup>ʔ</sup>Phi <sup>ʔ</sup>ʃuraraŋ] (形)

冷たい。「ハーヌ ミリヌ」ピヒジュラスア[<sup>ʔ</sup>ha:nu mirinu <sup>ʔ</sup>Phi <sup>ʔ</sup>ʃuraraŋ] (井戸の水が冷たい)。「ピヒジュラスア」ナイン[<sup>ʔ</sup>Phi <sup>ʔ</sup>ʃurara <sup>nai</sup>ŋ] (冷たくなる)。  
ピヒ「ジュラスア」ナーン[<sup>ʔ</sup>Phi <sup>ʔ</sup>ʃurara: <sup>na</sup>ŋ] (冷たくない)。「ピヒジュラスアタ」[<sup>ʔ</sup>Phi <sup>ʔ</sup>ʃurara taŋ] (冷たかった)。「ピヒジュラスア ナティ」シューン[<sup>ʔ</sup>Phi <sup>ʔ</sup>ʃurara nati <sup>ʔ</sup>ʃu:ŋ] (冷たくなってくる)

ピヒャー「ガイ」[<sup>ʔ</sup>Phi ja: <sup>gai</sup>] (名)

海の浅瀬。海中の暗礁。「干あがり」の義か。干潮時には海面にでる浅瀬。海中の珊瑚礁。「ピヒャーガイ」チ プン 「アギタン」[<sup>ʔ</sup>Phi ja: <sup>gai</sup> <sup>ʃi</sup> p'uŋ <sup>ʔ</sup>agi taŋ] (海の浅瀬に船を乗り上げてしまった)

「ピヒラ」[<sup>ʔ</sup>Phi ra] (名)

坂。傾斜地。「アマー ピヒラ ナトゥーン」[<sup>ʔ</sup>ama: <sup>ʔ</sup>Phi ra natu:ŋ] (あそこは坂になっている)

「プイン」[<sup>ʔ</sup>puiŋ] (動)

降る。「アミヌ プイ」ン[<sup>ʔ</sup>aminu <sup>pui</sup> ŋ] (雨が降る)。アミャー プ「ラン」 パリ「トゥ」ン ウ「チカイ」イカ[<sup>ʔ</sup>amja: <sup>p'u</sup> <sup>ram</sup> <sup>ʔ</sup>Phi ri <sup>tu</sup> ŋ <sup>ʔ</sup>u <sup>ʃi</sup> kai <sup>ʔ</sup>pika] (雨は降らない。晴れているうちに行こう)。「ナマ」アミヌ「プトゥークトゥ」イ「カラン」[<sup>na</sup>ma <sup>ʔ</sup>aminu <sup>ʔ</sup>putu:kutu <sup>ʔ</sup>pika <sup>ra</sup>ŋ] (今は雨が降っているから行けない)。「ナマン」プトゥーン「ドー」[<sup>na</sup>ma <sup>ʔ</sup>putu:n <sup>do</sup>:] (今も降っているよ)。「アン」チン「イキンバー」ヤネー[<sup>ʔ</sup>an <sup>ʃi</sup>ŋ <sup>ʔ</sup>iki <sup>mba</sup>: <sup>jane</sup>:] (それでも行くのか)。「アミヌ プイン」「ピーヤ シグトー」ナラン ヤーグマ「イヤル」[<sup>ʔ</sup>aminu <sup>p'uim</sup> <sup>ʔ</sup>pi:ja <sup>ʃiguto</sup>: <sup>na</sup>raŋ <sup>ja</sup>:guma <sup>i</sup> <sup>ja</sup>ru] (雨の降る日は仕事はできない。家ごもりだ)。「シューン」「プイヤー」[<sup>ʔ</sup>ʃu:m <sup>p'uija</sup>:] (今日も降るねえ)。「シューン」「プリバ スイミン」ムン」ヌ[<sup>ʔ</sup>ʃu:m <sup>ʔ</sup>puriba <sup>θimim</sup> <sup>mun</sup> nu] (今日も降ればよいのに)。「アミヌ プティン」ウミ「チャー」イ「キン」ドー[<sup>ʔ</sup>aminu <sup>p'uti</sup>ŋ <sup>ʔ</sup>umi <sup>ʃa</sup>: <sup>ʔ</sup>i <sup>kin</sup> <sup>do</sup>:] (雨がふっても海には行くよ)。「ハー」「プリバ」[<sup>ha</sup>: <sup>p'uriba</sup>] (早く降れよ)。「アミャー」プ「タ」ン[<sup>ʔ</sup>amja: <sup>pu</sup> <sup>ta</sup> ŋ] (雨は降った)

「フーリ」[<sup>ʔ</sup>Φu:ri] (名)

氷砂糖。「フーラー」アマスア[<sup>ʔ</sup>Φu:ra: <sup>ʔ</sup>ama raŋ] (氷は甘い)。「フーリ」チャー「ジャワンカイ」イッティ「トゥカ」シュン[<sup>ʔ</sup>Φu:ri <sup>ʃa</sup>: <sup>ʔ</sup>awaŋ kai <sup>ʔ</sup>itti <sup>tuka</sup> <sup>ʃu</sup>ŋ] (氷砂糖を茶碗に入れて溶かす)。氷砂糖は病後の栄養剤として重宝された。

フエー「ハリ」[Φe:「hari」] (名)

南風。フエー「ハラー」ヌク「スアン」[Φe:「hara:」 nuku「ran」] (南風は暖かい)。「ハリヌ」フエーラ プ「キーヤ」ヌクスア「ナイン」[「harinu」 Φe:ra p'u「ki:ja」 nukura「nain」] (風が南から吹いたら暖くなる)。フエー「ハリトゥ」マジョーン「ナター」シューン[Φe:「haritu」 maʒo:n 「nata:」 ʃu:ŋ] (南風と共に夏はやって来る)

プカ「スアン」[puka「ran」] (形)

深い。「ウヌ ウミヤー」プカ「スアン」[「ʔunu ʔumja:」 puka「ran」] (この海は深い)。「ウヌ ウミヤー」プカ「ウミ ヤル」[「ʔunu ʔumja:」 puka「ʔumi jar u」] (この海は深い海だ)。「ミカ「シャー」 プカスア「タン」[mika「ʃa:」 pukara「tan」] (昔は深かった)。「アン「チマリーヤ」 プカ「スアー」 ナーン ニ「ジッピルビカーノー」 アラ「ネー」[ʔan「ʧimari:ja」 puka「ra:」 na:ŋ ni「ʒippirubika:no:」 ʔara「ne:」] (それほど深くはないよ。二十尋ぐらいではないか)

フ「ガ」ニ[Φu「ga」ni] (名)

金。黄金。フ「ガニジーパー」[Φu「ganiʒi:pa:」] (黄金の簪)。

「プフ」シ[「pΦu」ʃi] (名)

星。「プフシヌ」ンギタン[「pΦuʃinu ʔngitan」] (星が出た)。「アチャー パハリーン」パハリ[「ʔaʃa: pΦari:m pΦari」] (明日は晴れるであろう)。

「プフティーン」[「pΦuti:ŋ」] (動)

暑く感じる。蒸し暑くなる。無風状態で気温が高く暑くなる。蒸す。「火照る」の義。「シューヤ デー「ジナ」 プフティー「ンムノ」[ʃu:ja de:「ʒina」 pΦuti:「mmun o:」] (今日は非常に暑い)。「アン「チ」 プフティー「ン ムノー」[「ʔan「ʧi」 pΦuti:「mm uno:」] (何と蒸し暑いことよ)。「ユルヌ 「アンチ」 プフティー「ン ムノー」[ʔjuru nu 「ʔanʧi pΦuti:「m muno:」] (夜があんなにも蒸し暑いことよ)

フ「パイン」[Φu「pain」] (動)

凍える。ピヒー「スアヌ ティーヌ」 フ「パ」ティ 「シグトー」 ナ「ラン」[pΦi:「ranu ti:nu」 Φu「pa」ti 「ʃiguto:」 na「ran」] (寒くて手が凍えて仕事が出来ない)。「チャッサ」ピー「サティン」 ティーヤ フ「パハラン」[「ʧarra」 pi:「ratin」 ti:ja Φu「paran」] (どんなに寒くても手は凍えない)。「フタ「ビン」 プヨー」 ドックピー「スアヌ」 スィーヌ フパ「タン バーン」 アタスアー[Φuta「bim p'ujo:」 duku pΦi:「ranu」 θi:nu Φupa「tam ba:ŋ」 ʔatara:」] (今年の冬はあまりにも寒くて手が凍えたこともあったよ)

プフ「クイ」[pΦu「kui」] (名)

ほこり (塵埃)。「ディキンヌ」プフ「クイ」[ʔdikinnu pΦu「kui」] (着物のほこり)

「プフル」イ[「pɸuru」i] (名)

稲光。雷光。プフ「ルイヌ」 ピカ「タン」[pɸu「ruinu」 pika「taŋ」] (稲光が光った)。

プフ「ルイヌ」 ピカ「イン」[pɸu「ruinu」 pika「iŋ」] (稲光が光る)

「フムイ」[「ɸumui」] (名)

水溜まり。

「フヤー」イ[「ɸja:」i] (名)

ひでり (旱)。旱天。「日照り」の義か。「フヤーイ ナタン」[「ɸja:i nataŋ」] (旱になった)。「フヤーイ ナティ」 ムン「ドクイン ハリ」ティ 「ナーン」[「ɸja:i nati」  
「mun「dukuin hari」ti 「na:ŋ」] (日照りになって作物も枯れてしまった)

「プユ」[「p'uju」] (名)

冬。「プユヌ」 チャン[「p'uju」nu tʃaŋ」] (冬が来た)。「プヨー」 ピヒー「スアイビ  
ーン」[「p'ujo: pɸi:「raibi:ŋ」] (冬は寒いです)。「プヨー」 ウミヤー 「アッカランク  
トウ」 ユクヤ「ビーン」[「p'ujo:」ʔumja:「ʔakkarankutu」 jukuja「bi:ŋ」] (冬は出  
漁できないから休みます)

フュー「カー」[ɸju:「ka:」] (名)

風。スアラフュー「カー」[rara ɸju:「ka」] (べた風)。スアラフュー「カー ナタン」[rara  
ɸju:「ka: nataŋ」] (べた風になった)

「フンディムイ」[「ɸundimui」] (地名)

昔の人を葬った墓所の地名。盛り上がった地形をしている。集落の近くにある。

「ボー」フー[「bo:」ɸu:」] (名)

暴風。台風。

「マーアンダ」[「ma:ʔanda」] (名)

てんぷら油。菜種油。食用油。

「マーイシ」[「ma:ʔiʃi」] (名)

健康祈願のために旧暦2月のウプヌシガナシ[ʔupunuʃiganaʃi]のウグワンダティ  
[ʔugwandati] (祈願)の際に家族の健康祈願のための小石<真石。霊石>をイシ  
キ浜より家族一人につき三個ずつ拾ってきて床の間に安置し、旧暦12月のウブクイ  
[ʔubukui]の祭りにイシキ浜に返す小石。

マ「ピヒャーラ」[ma「pɸja:ra」] (名)

最干潮。潮の引ききった状態。マ「ピヒャーラ ナタン」 ムンヌ 「イユ クワー  
シー」ガ 「イカ」[ma「pɸja:ra nata」m munnu 「ʔiju kwa:ʃi:」ga 「ʔika」] (干  
潮になったから<潮が引ききったから>魚を釣りに行こう)

「ミーティーチ」ジ[「mi:ti:tʃi」ʃi」] (名)

三つ旋毛。頭の頂きにある三つの旋毛。

「ミー」ニシ[「miː˥ niːfi】(名)

秋の終わりから冬の初めにかけて吹く北風。太陽暦の11月8日(立冬)の頃に吹く北風。秋ごろ吹き始める北風。「新北風」の義か。寒露の頃に吹く北風。

「ミガー」[「migaː】(名)

「御(み)井戸(か)」の義か。あるいは「美しい井戸」の義か。「ミガーヤ」イ  
「チバン ミーシャヌ ハーッ」チ イ「ヤットウーシガ」 ミカ「シャー」 ウシュ  
ガナ「スィーガ」 シ「マッ」チ イモーチ 「ウガミ」 「ウンダ」 イシキ「バマ」  
ウガミンショー「チャン ウンニーヌ スウマイヌ」 ウドゥ「ノー」 ウドゥン「ミ  
ヤーカイ」 スウクラッ「トゥータン スウマトゥーン ネーカ」ヌ ティケー「ミ  
リヤー ミガーラ クリ」 ティケー「トゥータンチ」 ウマー「リーン」 アン「シ  
ャーマル ウヤマティ ミガーッ」チ ティキラッ「タノー」 アラ「ネー  
[「migaːjaː ʔiːtʰibam miːʃanu haːtʰi ʔiːjattuːθigaː mikaːʃaː ʔuʃu  
ganaːθiːgaː ʃiːmatʰiː ʔimoːtʰi ʔugami ʔundaː ʔiʃikiːbamaː ʔu  
gamɪŋʃoːtʰaŋ ʔunniːnu θumainuː ʔuduːnoː˥ ʔurumːmjaːkaiː θukurat  
ˈtuːtaŋ θumatuːnneːkaːnu tikeːˈmirjaː migaːra kuriː tikeːˈtuːtantʰiː  
ʔumaːˈriːŋ ʔaŋˈʃaːmaru ʔujamati migaːtʰiː tikiratˈtanoː˥ ʔaraːneː】  
(ミガーは一番新しい井戸といわれているが昔は首里の王様が島にいらっしゃって  
拜んで、それからイシキ浜を拝みなされた。その時のお住まいの御殿はウドゥンミ  
ヤーに作られていた。お住まいになっているところの生活用水はミガー井戸から汲  
んで使っていたと思われる。それで敬ってミガーと命名された<つけられた>ので  
はないだろうか)

「ミチシュ」[「mitʰiʃu】(名)

満潮。「満ち潮」の義。「ミチシュ」 「ナタン」[「mitʰiʃu ˈnatan】(満潮になった)。  
「ミチシュ ナタ」ンムンヌ プン 「ンギヤサア」[「mitʰiʃu nataːm ˈmunnuː  
pʰuŋ ʔŋjara】(満潮になったから舟を出そう)

「ミッカリキ」[「mikkariki】(名)

三日月。「シューン」 「ユロー」 ミッカ「リ」キ 「ヤロ」[「ʃuːŋ ˈjuroː˥ mikka  
ˈriːki ˈjaro】(今夜は三日月である)

「ミ」リ[「miːri】(名)

水。「ミリ」ヌミン[「mri numɪŋ】(水を飲む)。「ミリヌ」 ンギーン[「mirinuː ʔŋ  
giːŋ】(水が出る)。「ミラー」 ンギ「ラン」[「miraː˥ ʔŋgiːraŋ】(水は出ない)。「ミ  
リヌ」 ンギ「トゥー」ン[「mirinuː ʔŋgiːtuː˥ŋ】(水が出ている)。「ミリヌ」 ンギ  
「タン」[「mirinuː ʔŋgiːtaŋ】(水が出た)。「ミリヌ」 ン「ギリバ」 スィミン「ムン  
ヌヤー」[「mirinuː ʔŋgiːribaː θimimˈmunnujaː】(水が出たらいいのになあ)。

「ンギヤー[「?ngija:]」(～出たら)ともいう。

「ミリグラ[「mirigura」](名)

水タンク。「水蔵」の義。シマ「カイ」 ミリ「グラヌ」 アタンヤーヤ ナナ「クブイ」 ヤタル[「fima ʔkai miri ʔguranu ʔataŋja:ja nana ʔkubui jataru」](島で水タンクのあった家は七軒だった)。ナナ「クブイ」チ ヲウム「タスイガ ヤークブイ」 ヤタル[nana ʔkubui ʔʔi ʔumu ʔta θiga ja:kubui jataru」](七軒と思ったが八軒であったよ)

「ムイ[「mui」](名)

丘。森。林。「フンディムイ[「ʔundimui」](地名)「盛り上がった所」の義。雑木の繁ったところ。

「モー[「mo:]」(名)

荒地。原野。草原。「モー」 「ナトゥーン[「mo: natu:ŋ」](畑が荒地になっている)。ワツ「ター シマヌ パハノー スウスイヌ」 グランナティ 「パハンプノー」 モー ナタイ 「ヤマナタイ ナティ」ナー「ン[wat ʔta: ʃimanu pʔano: θu θinu gurannati pʔambuno: mo:na ʔtai jamanatai nati na: ʔŋ」(私らの島の畑は耕作する人がいなくなって、半分は荒地になったり、雑木林になったりてしまった)

ヤグル「ガー[jaguru ʔga:]」(名)

久高島に五穀の種が漂着した際、沐浴したと伝えられる井戸。今でもノロが精進潔斎する井戸である。ヤグル「ガーヤ」 シマ 「スウクインショーチャル」 シラ「タルーガ イシキバマ」チ イ「モーチャ」ン バー「イー ウミラ ティブ」ヌ 「ユティ」チャグトウ 「ウリ スウインチャ スウイガ」 スウラ「ラン ヤー」チ ヘーティ 「スウジヌ」 パハーガナ「シーネー ウン パハナシー ヅチャクトウ」 イザイ「ガーンジッチカラ ンジ」 ミー「バ イヤリヤーマ イザイガーンジ アミソージッチ ンジャクトウ ウンニーヤ」 スウラッタン 「ウリガ グクヌ スァニヌ イッチュータン ティブ」 ヤタル[jaguru ʔga:ja ʃima ʔakuŋso:ʔa ru ʃira ʔtaru:ga ʔiʃikibama ʔʔi ʔi ʔmo:ʔa m ba: ʔi: ʔumira tibu nu ʔjuti ʔakutu ʔuri ʔuinʔa θga ʔura ʔraŋ ja:t ʔʔi he:ti ʔʔinu pʔa:g ana ʃi:ne: ʔunu pʔanaʃi: ʔʔakutu ʔidai ʔga:nʔi, ʔʔikara nʔi mi: ʔba ʔijarija:ma ʔidai ʔga:nʔi ʔamiso:ʔittʔi nʔakutu ʔunni:ja ʔurattan ʔuriga gukukunu raninu ʔitʔu:tan tibu jataru」(ヤグルガーは島をお造りになったシラタルーがイシキ浜へいらっしゃった時に海から壺が寄ってきたので、それを取ろうとしたが取れない。家に帰って妻のパハーガナシーにその話をしたところ、イザイガーに行行って沐浴をしてから行って見たらといわれて、イザイガーに



行って沐浴して行って見ると、その時は取ることが出来た。それが五穀の種が入っていた壺であった)

「ヤマ」[「jama」] (名)

山。林。樹木が密生しているところ。「ヤマ」チ スァムン 「スウイガ」 イキン[「jama」ʔʰi ʔʰramun ʔʰuiga ʔʰikin] (山へ薪を取りに行く)。「マー」チ 「イキガ」[「ma」ʔʰi ʔʰikiga] (何処へ行きますか) の問いに対する返事。

ヤマ「ガー」[jama「ga」:] (名)

(固有) 日常の生活用水を汲む井戸。

「ユイディキ」[「juidiki」] (名)

閏月。「寄り月」の義か。「ユイディキ」には墓を新築したり位牌を新調するという。

「ユーバンマブヤー」[「ju:bammabuja」:] (名)

宵の明星。「ユーバンマブヤー」ン シギ「タン」ムンヌ ʔハー ʔムン 「ケーバ」[「ju:bammabuja」ʔʰŋ ʔʰngi「tam」munnu ʔha: ʔmuŋ «ke:ba」] (宵の明星も出たから早く夕飯をくご飯を>食べなさい)

「ユールリ」[「ju:ruri」] (名)

夕風。

「ヨーカブ」シ[「jo:kabu」ʔʰi] (名)

明けの明星。「ヨーカブ」シン シギ「タン」ムンヌ ʔハー 「ウミ」チ 「イカナ」[「jo:kabuʔʰi ʔʰŋ ʔʰngi「tam」munnu ʔha: ʔʰumi」ʔʰi ʔʰikana」] (明けの明星が出たから早く出漁しようよ<海へ行こうよ>)

「リュ」ー[「rju」:] (名)

竜巻。「ル」ー[「ru」:] (竜巻) ともいう。「リュ」ヌ ʔウリ「タン」[「rju:nu」 ʔuri「tan」] (竜巻が下りた)。「リュ」ヤ 「ウトウルスァン」[「rju:ja ʔʰutururan」] (竜巻は恐ろしい)

「ワーティキ」[「wa:tiki」] (名)

天気。「ワーティキ」ヌ ハワイヤッサァン[「wa:tikinu hawaijarran」] (天気が変わりやすい)。「シュ」ヤ ʔギー 「ワーティキ ヤイビーン」[「ʃu:ja ʔgi: «wa:tiki jaibi」ʔʰŋ] (今日は良い天気です)。「ヤナ ワーティキ ナイン」[「jana wa:tiki nain」] (悪天候になる)。「ヤナ ワーティキ ナティ」 シューン[「jana wa:tiki nati」ʃu:ŋ] (悪天候になってくる)

天気。「ワーティキ」ヌ ユタ「スァン」[「wa:tikinu ʔjuta「ran」] (天気がよい。いい天気だ)。ギー 「ワーティキ」[gi: «wa:tiki」] (よい天気。晴天)。「ヤナ ワー」ティキ[「jana wa:ʔʰiki」] (悪天候。悪い天気)。「ギー 「ワー」チキ ナタン」[「gi: «wa:tiki natan」] (よい天気になった)

「ワンミキ」[wammiki] (名)

潮が満ちきったところ。満潮状態。「ワンミキ ナタ<sup>ㇿ</sup>ン ムンヌ ナマ<sup>ㇿ</sup>ラー<sup>ㇿ</sup> ピール 「シュル<sup>ㇿ</sup> ナイル」[wammiki natam<sup>ㇿ</sup>munnu nama<sup>ㇿ</sup>ra<sup>ㇿ</sup> p'i:ru 「<sup>ㇿ</sup>furu<sup>ㇿ</sup>nairu] (潮が満ちきったから今からは引き潮に<ぞ>なる)

ン<sup>ㇿ</sup>ケーハリ」[<sup>ㇿ</sup>ŋ<sup>ㇿ</sup>ke:hari] (名)

迎え風。逆風。

ンシュ<sup>ㇿ</sup>ガーミ」[ŋ<sup>ㇿ</sup>ʃu<sup>ㇿ</sup>ga:mi] (名)

味噌甕。自家製造の味噌類は甕に入れて密封し裏座で保管した。日常的には必要に応じて取り出し、味噌壺に移して台所に置き、調味料として使用した。

ンチャ」[ntʃa] (名)

土。泥。「丹田」の義か。「アカンチャ」[<sup>ㇿ</sup>ʔakantʃa] (赤土)。<sup>ㇿ</sup>ンチャヌ 「ハタスアン」[<sup>ㇿ</sup>ntʃanu<sup>ㇿ</sup> hataran<sup>ㇿ</sup>] (土が固い)。<sup>ㇿ</sup>ンチャ 「ニーン」[<sup>ㇿ</sup>ntʃa<sup>ㇿ</sup> ni:ŋ] (土を捏ねる)

ンディーン」[<sup>ㇿ</sup>ɲdi:ŋ] (動)

濡れる。ア<sup>ㇿ</sup>ミネー<sup>ㇿ</sup> ンディタン ムル シップール」[<sup>ㇿ</sup>a<sup>ㇿ</sup>mine: ɲnditam muru ʃippuru:] (雨に濡れた。びしょ濡れだ)。「ナマ<sup>ㇿ</sup> イ<sup>ㇿ</sup>キーヤ<sup>ㇿ</sup> ン<sup>ㇿ</sup>ディーンドー<sup>ㇿ</sup> パラチ<sup>ㇿ</sup>カラ イキバ」[<sup>ㇿ</sup>nama<sup>ㇿ</sup> ɲi<sup>ㇿ</sup>ki:ja<sup>ㇿ</sup> ɲn<sup>ㇿ</sup>di:ndo: ㇿ<sup>ㇿ</sup>paratʃi<sup>ㇿ</sup>kara ɲikiba] (今行ったら濡れるよ。雨が晴れてから<晴らしてから>行きなさい)。<sup>ㇿ</sup>ハサ<sup>ㇿ</sup> 「サチ イキクトウ<sup>ㇿ</sup> ン<sup>ㇿ</sup>ディラン」[<sup>ㇿ</sup>hasa<sup>ㇿ</sup> satʃi ɲikikutu<sup>ㇿ</sup> ɲn<sup>ㇿ</sup>diran] (傘を差して行くから濡れない)。ア<sup>ㇿ</sup>ミネー<sup>ㇿ</sup> ン<sup>ㇿ</sup>ディーヤ<sup>ㇿ</sup> パハ<sup>ㇿ</sup>ナシキ<sup>ㇿ</sup> ハ<sup>ㇿ</sup>カイン<sup>ㇿ</sup> ドー<sup>ㇿ</sup> ン<sup>ㇿ</sup>ディラ<sup>ㇿ</sup>ンカンバー」[<sup>ㇿ</sup>a<sup>ㇿ</sup>mine: ㇿ<sup>ㇿ</sup>ɲdi:ja<sup>ㇿ</sup> pʰa<sup>ㇿ</sup>naʃiki<sup>ㇿ</sup> ha<sup>ㇿ</sup>kain<sup>ㇿ</sup>do: ɲn<sup>ㇿ</sup>dira<sup>ㇿ</sup>ŋkamba:] (雨に濡れたら風邪をひくよ。ぬれるなよ)